



新社会党東京都本部委員長

江原ひであきアピール 2005.6

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話(03)3381-7656 FAX (03)3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール hide-eba@cameo.plala.or.jp

破綻した小泉政治！

労働者、市民と連帯し新しい政治を創造しよう

自・公、民の政治に明日はない

小泉政権ができて 4 年たつ。この間、規制緩和と構造改革を掲げて国民に痛みと我慢を強いてきた。また、対外的には新自由主義経済路線に乗って大企業の海外進出を促進し、一方で日米一体の軍事同盟を強化し、アジアから中東まで軍事力の行使を可能とする大国への道を歩みつつある。民主党も構造改革を競い、改憲を主張する。基本的に自公と大差はない！

八方ふさがりの小泉外交！

しかし、このような小泉政治は国の内外で大きく破綻してきている。最近では韓国や中国で連日のようにデモなどが行われている。4月9日には北京で大使館の窓が破壊され、日の丸が焼かれ日本車がひっくり返された。ソウルでも日本国旗が焼かれ反日デモが繰り返されている。さらに、ロシアとは北方領土問題で、北朝鮮とは拉致や核問題などでいき詰まっている。

また、日本は国連での常任理事国入りを図ってきたが、前述の4カ国を初め肝心のアジア諸国から反対され、加盟 100 カ国以上が反対？のありさまだ。このように、いまや完全に外交破綻の状況である。

歴史に逆行する日本支配層(政財官)

日本支配層は選択を誤っている。小泉首相は靖国参拝を続けている。何千万人もが殺し殺された戦争を真に反省せず、日の丸、君が代を強制し中高の教科書を通じナショナリズムを鼓舞、昭和を回帰している。二度と戦争はしないと誓った平和憲法をなし崩して自衛隊を戦場のイラクへ派兵した。同時に日米の軍事同盟を年々強化し、九条を放棄して世界に覇権を求め、戦争のできる軍事大国化を公然化させている。アジアで孤立するのは当然といわなければならない。

規制緩和と構造改革は何をもたらしたか！

私は、日本社会の現状を三つの特徴をあげ、機会あるごとに指摘してきた。その1つは、「国民生活が急速に崩壊」。(大企業優遇と弱肉強食社会 貧富の差の拡大)、低賃金労働者とフリーターや失業者の増大。中小商工業者の倒産で商店街とコミュニティーが崩壊している。社会保障制度が改悪され高齢者や障害者など弱者の命とくらしが脅かされている。2つめには、「荒廃する日本社会！」。小泉首相初め人々の言動が短絡的で粗雑、粗暴に、社会全体の思考力が低下し軽薄に、人権や人の尊厳が軽視され、人心が荒んで凶悪な犯罪が激増。3つめに、「監視社会、強権国家へ突き進む」。犯罪の急増を逆手に、まちの中や職場で監視が強要される。警察権力が強化され簡単に逮捕する。

労働者、市民とともに新しい政治の創造を！

このような日本の政治、経済のあり方は、私たちは基本的に容認しない。また、多くの国民にとってもアジア諸国民や世界の人々にとっても人間社会の未来を切り拓くものとは言えない。

私たちがめざす日本社会のあり方は現在政治に対し、根本的に政策的に対峙するものでなければならぬ。それは、“日米一体化ではなく、アジア重視だ”。“軍事力でなく、平和を武器に”。“新自由主義でなく、多国間の発展だ”。“規制緩和でなく、バランス重視だ”。“弱肉強食でなく、助け合いを”。“差別でなく、平等重視だ”。“短絡思考でなく、論理重視に”。“監視・強権でなく、思いやりと信ずる心を”。

そんな社会の創造めざして労働者、市民と連帯を深めよう。そのための政治勢力を構築しよう！

(05.6 江原ひであき)